

日本特種ボディーの社会に貢献するサステナブルな一歩 ソーシャルプロダクツアワード 2025 受賞

受賞名「災害支援車両の生産・販売と災害復旧支援スキーム構築への参画」

ソーシャルプロダクツ・アワード（SPA）は、持続可能な社会の実現につながる優れた「ソーシャルプロダクツ」に光をあて、社会性と商品性の両面を評価する日本では初めての表彰制度です。2012年に始まり、SPA2025で12回目を迎えました。過去受賞例の中には、再生素材を活用したファッションアイテム、フェアトレード認証の食品、障がい者支援につながる雑貨など、多様な社会課題の解決に貢献するプロダクトが評価されています。持続可能な未来を目指し、企業や団体の取り組みが広く認知される場となっています。



受賞の背景

当社は、いすゞ自動車の小型トラックシャシをベースにキャンピングカーを製造しています。災害復興支援活動として、「モノの運搬」と「移動事務所」を両立する車両を開発し、日本福祉大学山本教授と支援活動スキームの構築に参画しています。現在、販売に至っていない状況ですが、当社の積極的な災害支援への取り組みが評価され、本賞を受賞しました。また、越谷市・桑名市と災害協定を締結し、NTBが加盟する一般社団法人日本カーブーツリズム推進協会も、小菅村、草加市と災害協定を締結。災害時には支援車両貸与を行っています。



車両紹介



Collaborate with 

監修：山本克彦
一般社団法人
日本ソーシャルワーク教育学校連盟
会長橋佐（災害担当部長）

日本福祉大学 教授
福祉経営学部
医療・福祉マネジメント学科
専門：災害ソーシャルワーク
2004年中越地震以降、
災害時の先遣調査に20年間の実績

災害支援に役立つ即戦力

モノを運ぶ機能

- 初動フェイズ：物資（水、食糧…）
- 復旧フェイズ①：災害ゴミ（家財…）
- 復旧フェイズ②：仮設住宅への引っ越し

日常生活にも存在感、小回り
どんな道も走れる、誰もが運転できるサイズ
なじみのある「軽トラ」
災害支援トラック
DISASTER RELIEF TRUCK → 「Dトラ」



災害支援

初号車は8月21日（水）にNTBより一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟へ寄贈させていただきました。現在、Dトラは現地で活動中の学生ボランティアと共に能登半島地震で被災地域の復旧活動に使用されています。NTBでは「Dトラ」の活用について学生ボランティアの皆様からフィードバックをいただき、改善点を洗い出し、さらに現地で使いやすい車両へブラッシュアップしてゆくとともに、これから発生すると考えられる災害に対しても、速やかに「Dトラ」が被災現場で活動できるよう量産体制を整えてゆきたいと考えております。



車両の取り回し性能：軽トラックをベース車両として小回り性能を実現



荷崩れ防止・落下防止を目的とした荷台側面設置の上下伸縮する特殊フレーム